

施策 No.31 コミュニティ活動の推進										基本計画 掲載頁	108～109
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	Ⅱ：一部見直し等 の余地がある	施策展開の評価数	A	0	B	3	C	1	
				(参考)事務事業評価の実施状況	A	0	B	4	C	0	
成果	各町内会の活動や掲示板等の整備に対し補助金を交付し、地域コミュニティへの支援を行った。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	引き続き、町内会活動等への助成を行うとともに、町内会加入に向けた啓発を行う。 また、集会所予約のデジタル化等、町内会の負担軽減や市民の利便性を向上させる方策を検討・推進し、コミュニティ活動の活性化を図る。						
課題	転入者に対する加入呼び掛けや町内会業務の負担軽減を図っているが、地域コミュニティの核となる町内会への加入率は低下しており、地域コミュニティの希薄化が課題である。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 地域コミュニティへの支援		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1	同じ地域に住む人同士が協力して住みよいまちづくりを行う多様な主体による自主的な活動に対し、アナログ及びデジタルの両面から支援することで、自治意識の高揚を図ります。	B	・町内会のデジタル化については、令和5年度に市及び新座市町内会連合会で電子回覧板等を検討した結果、一部の町内会で試験導入を実施しており、令和6年度には町内会の総会資料を電子化し共有する等、活用が進んだ。	地域活動推進課
2	転入者への案内や町内会における活動などを通じ、地域コミュニティの核である町内会への加入を促進します。	C	・転入者へ啓発チラシ、ポケットティッシュ等を配布し、加入を呼び掛けた。 ・福祉フェスティバルで啓発チラシ等を配布したが、加入率の維持や向上には至らなかった。	地域活動推進課
(2) コミュニティの拠点整備		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
3	地域コミュニティの活動拠点となる市立集会所については、利用実態や維持管理に係る費用も勘案し、施設の在り方を含めた整備の方向性について検討します。	B	・町内会等に委託している集会所管理業務の負担軽減や、利用者の利便性の向上に向けて、情報システム課主導による公募型プロポーザル方式により、新座市公共施設予約システム更改事業の提案募集を実施した（令和7年度事業実施予定。公共施設予約システム、スマートロックシステムを導入する予定である。）。	地域活動推進課
4	町内会等が実施する地域会館等の整備に対し、助成を行います。	B	・申請のあった掲示板等整備3件についてコミュニティ施設整備事業補助金を交付し、地域コミュニティの推進に寄与した。	地域活動推進課

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
町内会加入率	56.7%	53.2%	50.8%				60.0%	C	地域活動推進課